

授業科目名・形態	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	白男川尚・石岡和志・林宏二・脇山園恵	開講期	3年前期	単位数	1

【授業の主題】

相談援助実習に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。また、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得し、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を目指していく。

【到達目標】

- 1) 相談援助実習の意義と実習先や利用者、関連する地域社会等について理解する。
- 2) 実習計画書の意義、実習記録ノートの意義、書き方、取扱い等について理解する。

【授業計画・内容】

- | | | |
|------|-------------|--|
| 第1回 | オリエンテーション | ・実習の概要（実習前・実習中・実習後） |
| 第2回 | 相談援助実習の意義 | ・社会福祉士の役割と相談援助実習の目標と内容
・相談援助実習前中後の流れ(全体像)と指導体制
・実習における契約構造の説明と実習生の義務・権利、他の科目との関連 |
| 第3回 | 相談援助実習先の理解① | ・契約書・個人調書(履歴書)等書類の作成 |
| 第4回 | 相談援助実習先の理解② | ・配属先実習分野・機関施設の根拠・関連法令理解
・実習先で提供される具体的なサービス内容(介護・保育等)の理解 |
| 第5回 | 相談援助実習先の理解③ | ・実習先の地域の歴史、文化、産業、人口動態、福祉の全体状況などの理解
・配属先実習分野・機関施設の利用者理解、運営・経営に関する理解 |
| 第6回 | 相談援助実習先の理解④ | ・情報収集の成果の発表(情報共有) |
| 第7回 | 実習計画の作成① | ・実習計画書の意義、作成に関する説明 |
| 第8回 | 実習計画の作成② | ・実習計画書の作成1 |
| 第9回 | 実習計画の作成③ | ・実習計画書の作成2 |
| 第10回 | 実習計画の作成⑤ | ・実習計画書の作成3(分野別グループ発表) |
| 第11回 | 事前訪問の理解① | ・事前訪問の目的、方法、内容等 |
| 第12回 | 事前訪問の理解② | ・事前課題や健康診断書等の提出物、社会的マナー |
| 第13回 | 事前訪問の理解③ | ・事前訪問報告書について |
| 第14回 | 実習記録ノートの理解① | ・実習記録ノートの意義、書き方、取扱い等に関する理解 |
| 第15回 | 実習記録ノートの理解② | ・実習記録ノートの書き方演習 |

【授業実施方法】 講義および演習

【授業準備】 相談援助実習の意義と実習先や利用者の状況を理解し、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】 ソーシャルワーク実習

【教科書等】 川村隆彦「事例で深めるソーシャルワーク実習」中央法規出版

【参考文献】 必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】 出席状況、実習計画書、記録内容、実習報告会及び報告書の内容、提出物を100%総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

これまでの学習・生活経験を活かし、ソーシャルワーク実習を効果的に進められるよう、主体的かつ総合的に取り組んでください。